

民主党 電力需給問題対策PT ヒアリング
(平成23年4月21日)

大学病院における節電対策について

全国医学部長病院長会議

会長 黒岩 義之(横浜市立大学医学部長)
副会長 森山 寛(東京慈恵会医科大学附属病院長)
宮崎 勝(千葉大学医学部附属病院長)
赫 彰郎(日本医科大学理事長)
寺井 勝(東京女子医科大学八千代医療センター病院長)

大学病院における一層の節電対策について

大学病院は、節電対策に最大限取り組みます

大学病院は、患者の生命・安全に影響を及ぼすことのないよう、**限界まで節電策を実施し、今後も一層の努力を重ねます。**

【取組内容】

- スタッフエリアの空調の停止・制限
…運転スケジュールを見直し等
- 管理部門、売店の消灯、自販機の停止
…病院機能に影響のない範囲を徹底的に洗い出し、徹底した節電
- エレベーターの停止
…患者導線を再確認し、停止したとしても影響の少ないエレベーターを停止
- 電子カルテ端末の一部停止
…使用端末を精選し、影響の少ない端末を停止
- コピー機等事務機器の使用制限 等

大学病院の機能・安全性の確保

大学病院は、これからも中核的医療機関として、
高度医療、地域医療の実施を推進します

大学病院は、災害医療や救急医療を担うため、いかなる時も機能・安全性を確保し続ける必要があります。

停電・節電により、医療機能の低下を招かぬよう、あらゆる知恵と労力を投入し続けます。

小さな命を守り続けます

患者の安全・安心を確保し、高度医療を実施します



※NICU(新生児集中治療室)



※ daVinci surgical system による心臓外科手術

2

(参考)

○一律の使用制限による問題点

- ・室温の上昇による熱中症の発生等、入院患者の容態悪化
- ・がん治療を行う放射線機器等、大型医療機器の使用制限
- ・高温により、検査分析機器の検査データが不正確になる
- ・血液、薬剤の保管ができなくなる
- ・照度の低下により、入院患者の転倒等、事故の多発
- ・医療情報端末の停止による過去の患者情報との照合不可
- ・がん手術等、予約手術の遅れによる症状の悪化 等

3